

ご利用案内

開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

休館日 毎週月・火曜日/祝日の翌日(土・日・祝日を除く)
年末年始・メンテナンス休館
※リアス・アーク美術館年間展覧会スケジュールをご参照ください。

観覧料

- 常設展 一般=500(400)円/大学・専門学生=400(300)円/高校生=300(200)円
小・中学生=150(100)円 【()内は20名以上の団体料金】
- 企画展 展覧会ごとに設定(展覧会情報をご覧ください)

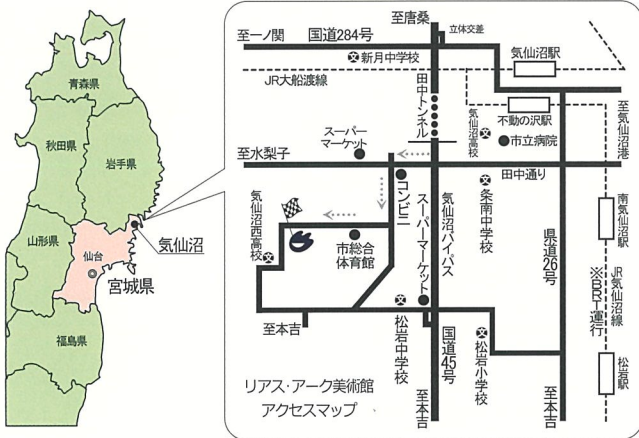
※療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、及びその介護者は常設展無料、企画展半額。
身体障害者手帳をお持ちの方、及びその方の身体障害者手帳の障害の程度に一級または二級と記載されている方の介護者1名は常設展無料、企画展半額です。ご利用の際は手帳をご提示ください。

交通案内

JR 東北新幹線 JR一ノ関駅～大船渡線 JR気仙沼駅下車
※駅よりバス(30分～)・タクシー(20分～)をご利用ください。
※東日本大震災の影響により JR気仙沼線は鉄道復旧までの代替として BRT(=バス高速輸送システム)により運行されています。運行スケジュールなどの詳細は関係機関へお問い合わせください。

お車 東北自動車道一ノ関 IC から国道 284 号線経由約 50 km
JR 仙台駅から約 120 km / 石巻市から約 80 km (国道 346 号線・国道 45 号線経由) ※無料駐車場あり

バス 路線バス(宮城交通バス) 停留所=リアス・アーク美術館前
気仙沼市総合体育館・気仙沼西高校方面へ向かうバスにご乗車ください。
運行スケジュールなどの詳細は関係機関へお問い合わせください。



 リアス・アーク美術館
RIAS ARK MUSEUM OF ART

〒988-0171 宮城県気仙沼市赤岩牧沢 138-5
TEL = 0226-24-1611 / FAX = 0226-24-1448

E-mail = riasark.m@nifty.com / URL = http://www.riasark.com

リアス・アーク美術館

RIAS ARK MUSEUM OF ART

リアス・アーク美術館の概要

リアス・アーク美術館は、宮城県が県土の均衡ある発展をはかるため、「広域圏活性化プロジェクト事業」を創設し、気仙沼・本吉広域圏の「地域文化創造プロジェクト事業」の中核施設として、宮城県が施設の整備を行い、管理運営を気仙沼市と南三陸町で構成する気仙沼・本吉地域広域行政事務組合が行っています。

1994年(平成6年)10月25日開館。所在地は気仙沼市の市街地から南西2.5kmの位置にあり、気仙沼湾を見下ろす丘陵地帯の一角に位置しています。

当館は「圏域住民への質の高い芸術文化に触れる機会の提供」と「住民の創作活動や発表の場の提供」を通じ、美術的な視点から個性豊かな圏域文化を創造しようとする生涯学習施設です。東北・北海道を一つのエリアと捉え、美術をはじめとする芸術文化を継続的に調査、研究することを基本方針とし、常設・企画事業を展開しています。

施設内容は圏域に内在する文化資源を発掘し“食”を軸として公開する「方舟日記」及び当館所縁の作家を中心に紹介する「収蔵美術作品展」を常設展示するアークギャラリー、「東日本大震災の記録と津波の災害史」と題し記録資料等を常設展示する企画展示室、当館企画展・巡回展・圏域住民の創作活動の発表等を行う圏域ギャラリー、住民の創作活動を支援するワークショップ、そして当館オリジナルソフトを中心に視聴覚映像作品を上映するハイビジョンギャラリーなどの複合的機能からなっています。



展示施設 1F

企画展示室 <常設展示>

[Exhibition room]

「東日本大震災の記録と津波の災害史」

2011.3.11 震災直後から2年間にわたり学芸員らが行った被害記録調査活動によって得られた記録写真や被災物、三陸沿岸部を中心とした過去の津波災害の資料等を展示しています。平成25年4月3日より新設公開しました。



被災物：タイル片

被災物：ぬいぐるみ

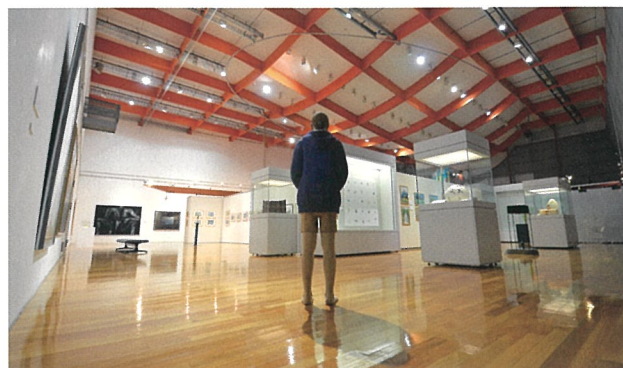
展示施設 2F

アークギャラリー <常設展示>

[Ark gallery]



歴史民俗資料展示「方舟日記—海と山を生きるリアスなくらしー」
リアス地域の文化を「食」を軸として紹介しています。



収蔵美術作品展示 当館所縁の作家を中心に紹介しています。

圏域ギャラリー <企画展示など>

[Community gallery]

当館の自主企画展、巡回展などの展覧会を開催します。



普及施設・他

エントランスホール

[Entrance Hall]

建物外壁と同じアルミ合金パネルや漆喰などが混在しています。日本の現代技術と伝統技術が対峙する空間からは建築意匠の面白さが最も強く感じられます。

ミュージアムショップ【Museum Shop】

作家制作のグッズやクラフト品、当館発行の図録等を販売しています。

ワークショップ【Work Shop】

美術をはじめ、様々な芸術文化に関する相談、美術作品制作など、無料で利用できる工房です。学芸員が指導にあたり、工作教室や各種ワークショップなども行っています。

ハイビジョンギャラリー

[Hi-Vision Gallery]

美術作品や地域文化などの画像・動画が鑑賞できる映像室です。約90の座席を有し、小規模なコンサートや講演会なども行っています。

コモンホール【Common Hall】

主に貸ギャラリーとして利用される小規模展示スペースです。大型船内部を思わせるユニークな空間です。

レストラン【Restaurant】

風景を楽しみながら、地元食材を活かした創作料理が手ごろな価格で味わえる人気のレストランです。

展望室【Observation Room】

建物東側から地上約12mの空中に突き出たガラス張りの展望デッキ。気仙沼市街地が一望できます。

屋上塔【Symbol Tower】

外観で最も特徴的なのが屋上にそびえ立つ不思議な物体。当館のシンボルとなっているこの塔は未来へと航海する子供たちの姿をイメージしています。

